國魂神社「令和の大修復事業」ご奉賛のお願い

時下、ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

平素より、國魂神社の維持運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

國魂神社は西暦八〇六年（平安時代前期）に、菊田国造が出雲大社より勧請して以来、千二百年を超える年月にわたり当地に鎮座し、地域の鎮守さまとして崇敬をされて参りました。

現存の本殿は明治十一年（一八七八年）、拝殿は昭和十七年（一九四二年）に建立されており、社殿の内外に損傷個所がみられる様になりました。特に、銅板葺きの屋根は経年による劣化に加えて、昨今の異常気象による集中豪雨で雨漏りが所々でみられます。その都度部分修理を行って参りましたが、それも一時しのぎに過ぎず、根本的な対策を行う必要に迫られております。

また、社会状況の変化や老朽化による神社内及び境内の施設改修も必要となって参りました。

つきまして、國魂神社を将来も地域の鎮守さまとして子孫の末々まで残して参りたく、この度「令和の大修復事業」を計画致しました。

皆様には、趣旨ご賢察の上、ご賛同賜ります様、心よりお願い申し上げます。

令和五年六月吉日

國魂神社　宮司　宮川　崇

國魂神社改修事業実行委員会会長　小林　正平

仝　副会長　斉藤　隆

【事業概要】

一、　本殿、拝殿屋根の銅板吹き替え工事　※工期予定、令和六年一月より九月まで

二、　付帯修繕工事（社殿及び境内補修工事、環境整備工事）

【事業予算】

六千四百万円（内、奉賛目標額千三百万円）

【奉賛金】

一口　千円

※ご奉賛頂きました皆様の名簿を竣工奉告祭において、神前に奉奠致します。

※五口以上ご奉賛の方は、芳名板にご芳名を記載いたします。（ご希望の方のみ）

【募集期間】

令和五年八月より令和六年八月まで

【受付方法】

申込用紙にご記入の上、社務所までお持ち下さい。

……キリトリ……

ご奉賛申込書　令和　年　月　日　No.

ご芳名	
ご住所	〒　-
お電話番号	-　-
奉賛口数	【　】口（　円）□（五口以上の方）芳名額への記載不要